

報道関係者各位

平成23年6月24日
株式会社 ネグジット総研
MMPR事業部

【薬局経営者・経営幹部アンケート】保険薬局企業 薬剤師の入職率は14%、離職率9%

医療経営コンサルティング、薬剤師を対象としたプロモーション及び調査会社の株式会社ネグジット総研(所在地：兵庫県神戸市、代表取締役社長：八田 光)は、保険薬局の47社を対象に「保険薬局の離職率実態調査」を実施、調査結果を公開いたしました。

【調査背景・目的】

- 本調査は、一般的に離職率が高いと言われている保険薬局の実態について、職種・階層別の実態と、入職率の実態を明らかにすることを目的に実施しました。
離職率、入職率については、厚生労働省の雇用動向調査の計算基準に基づき、店長・薬剤師(パート除く)・パート薬剤師・受付事務(パート除く)の職種ごとに以下のとおり算出しました。

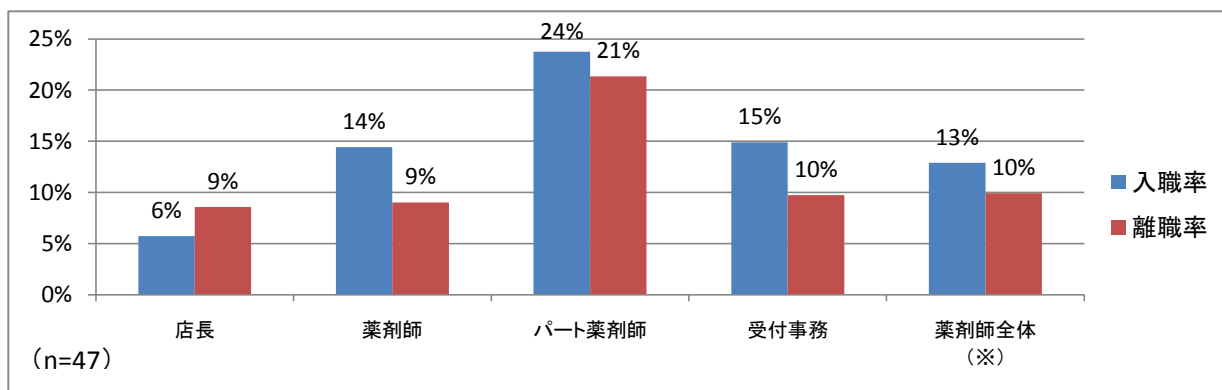
離職率=2009年4月から2010年3月までの退職者数/2009年4月時点の勤務者数*100
入職率=2009年4月から2010年3月までの入職者数/2009年4月時点の勤務者数*100

【調査結果・トピックス】

- 薬剤師の入職率は14%、離職率は9%で入職超過率(入職率-離職率)は5%と、入職者数が離職者数を上回る結果でした。また、パート薬剤師の入職率が24%、離職率は21%で最も比率が高い結果でした。
- 店舗規模別では、31店舗以上の入職率が18%、離職率が16%で最も比率が高い結果でした。
- 3年以上勤務している従業員の割合は、全体平均で68%でした(保険薬局の全従業員が対象)
- 厚生労働省の平成21年雇用動向調査結果の概況によれば、主要産業の入職率は15.5%、離職率は16.4%であり、単純な比較はできないが薬剤師の離職率は他業種よりも低い結果であった。なお、前述の厚生労働省の調査で産業別の離職率をみると、宿泊業、飲食サービス業が32.1%と最も高く、次いで生活関連サービス業、娯楽業が28.2%となっている。

集計結果

職種・階層別 入職率と離職率

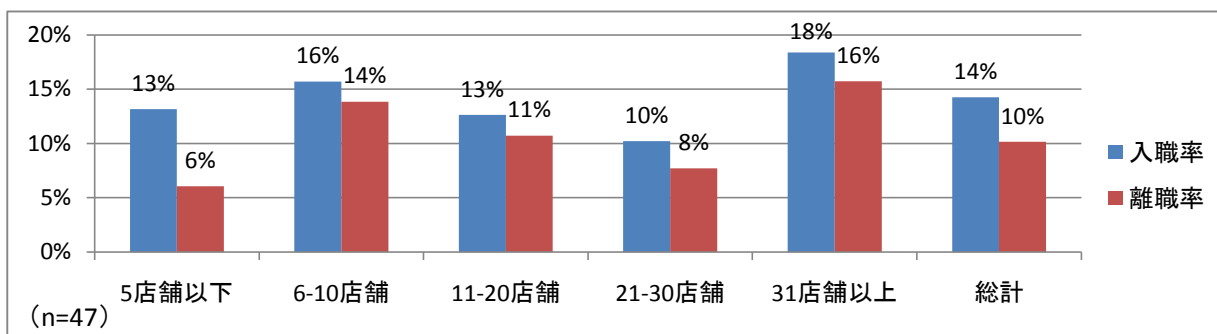


◇ ※薬剤師全体は、パート薬剤師数1人を正社員0.5人、店長1人を薬剤師1人に換算した合計です。

[数式: 薬剤師全体=店長+薬剤師+パート薬剤師/2]

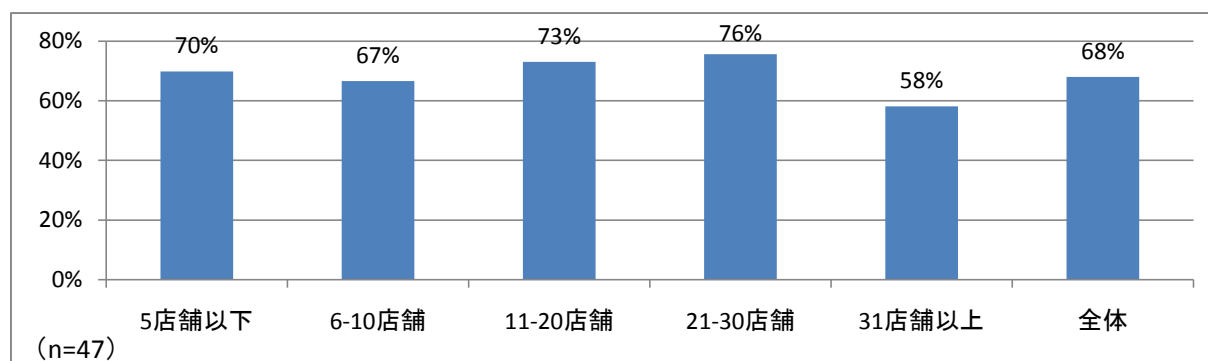
◇ 薬剤師の入職率は14%、離職率は9%で入職超過率(入職率-離職率)は5%と、入職者数が離職者数を上回る結果でした。また、パート薬剤師の入職率が24%、離職率は21%で最も比率が高い結果でした。

店舗規模別 入職率と離職率



◇店舗規模別では、31店舗以上の入職率が18%、離職率が16%で最も比率が高く、5店舗以下での離職率は6%と比率が低い結果でした。

3年以上勤務割合 店舗規模別平均



◇3年以上勤務している従業員の割合は、全体平均で68%でした(保険薬局の全従業員が対象)。店舗規模が31店舗以上の3年以上の勤務割合は58%で、店舗規模別では最も低い結果でした。

薬剤師の月別動向調査レポート 「マンスリーリサーチレポート」 好評発売中

印象に残った製品、問合せが多かった製品、説明する際に苦労した製品など毎月ごとの薬剤師の動向などが把握できます。自社製品の意見の他、他社製品についても様々な意見をレポートでご覧いただけます。毎月発売。

定価：31,500円(税込)

[詳細はこちらから](#)

■ 調査概要

調査期間 2010年9月27日 ~ 10月15日
 調査サンプル数 47社(5店舗以下:18社 6-10店舗:7社 11-20店舗:7社 21-30店舗:5社 31店舗以上:10社)
 調査方法 メールによるアンケート回収
 調査実施機関 株式会社ネグジット総研 経営コンサルティング部
 調査対象 保険薬局企業 経営者・経営幹部

会社概要

株式会社ネグジット総研

会社名：株式会社ネグジット総研
 代表者：代表取締役社長 八田 光
 設立：1977年9月28日
 所在地：兵庫県神戸市中央区江戸町85-1 ベイ・ウィング神戸ビル5F
 事業内容：企業経営・医療経営の総合コンサルティングサービス
 URL：<http://www.yakuzaishi-di.net>

[本件に関するお問合せ]

株式会社ネグジット総研 <http://www.yakuzaishi-di.net>
 TEL (078) 393-2151 FAX (078) 393-2180
 MMPR事業部 mmpr@yakuzaishi-di.net